

飼い犬にとっての「群れ」は、一緒に暮らしている人間の家族です。人と犬が楽しく快適に暮らすためには、「群れで生活する動物」という犬の習性をきちんと理解し、飼い主が良きリーダーとなって、主導権は誰が持っているのかをはっきり認識させることが大切です。

1. 犬の学習方法を知ってしつけをしていますか?

- しつけをすることで、犬は上下関係を理解します。
- してほしいことをしたときにはタイミングよく誉めること (時にはご褒美も)
 - してほしくないことをしたときにはタイミングよく叱ること (体罰は厳禁)
 - 一貫性を持った態度で家族全員で継続すること (曖昧な態度では犬は混乱します)

2. アイコンタクトができていますか?

- 犬の名前を呼んだ時、直ぐに「何?」とこちらを注目するような癖をつけることが、まずはしつけの第1歩です。
- 名前を呼ぶ時は誉めるとき
 - 叱るときには名前は呼ばないこと!

3. 食事や散歩の時間は飼主が決めていますか?

犬に激しく吠えられながら催促されて、食事を与えたり、散歩に行ったりしていませんか? 犬の要求に応えると、犬は自分がリーダーだと思い込んでしまい、その結果、ますます要求が強くなっていきます。



4. 体中どこでも触ることができますか?

犬の急所である口のまわり・内股・尻尾の先・足の先などは、信頼していない人に触られるのを嫌います。犬が緊張していない状態で、どこでも触ることが出来ますか?



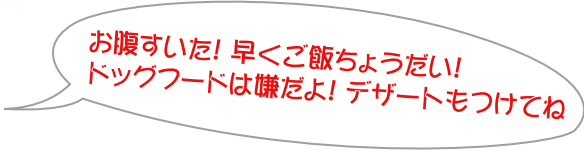
5. 散歩のコースはいつも飼主が決めていますか?

信頼できるリーダーの行くところは、安心してついていけます。

- 犬に引っ張られて散歩することは、主導権が犬にある状態 → 脚側行進の練習を根気よくすることで解決!

6. 口にくわえている物(おやつ・おもちゃ)を取ることができますか?

信頼しているリーダーに対しては、服従心や自制心が働くので、反抗したり噛み付いたりすることはありません。



飼い犬が理想とするリーダーには、自分が安心して頼れる強いリーダーシップと優しさを持ち合わせていることが必要です(犬に対して怒鳴ったり威張ったりすることがリーダーらしい振る舞いというわけではありません)。しつけをすることが可哀想だからと犬の要求にしたがっていると、犬はどんどん我ままになり、自分が家族のリーダーだと思い込んでうえ、吠える・噛む等の問題行動を起こすこともあります。

さあ、皆さん! 大切な家族の一員ならば、ご近所でも評判の「名犬」を目指して、愛犬と一緒に楽しみながら「しつけ」をしていきましょう。

~パートナードッグクラブしつけ方教室より~

芦屋川の名物犬(?) リジーちゃんのエコロジー生活



はじめまして!
元氣潑刺! ジャックラッセルテリアのリジーです。
芦屋のワンコ諸君! 毎日元氣にお散歩してますか? あたしの大好きなお散歩コース、芦屋川は、自然がイッパイでとっても気持ちの良いところ。でも知ってるかな? 実は意外とゴミも多いんだ。

ある時、あたしがママと川で遊んでいたら、目の前をドンブラコッとペットボトルが流れて来たの。動くものを見ると、ついつい追いかけてくなるあたし。思わず川へ飛び込んだ! ペットボトルを捕まえて、くわえて戻って来たあたしを見て、ママは笑って大喜び! すごくほめてくれたんだ。それが嬉しくなっちゃって、それ以来、ペットボトルと空き缶をセッセと拾い集め

るのがあたしの日課になりました。でもね、空き缶拾いは難しいんだよ。口の大きさには自信のあるあたしなだけで、滑ってくわえにくいし、水の中に沈んでるのを拾う時は、息を止めて「1, 2, 3!」ってしないとイケないし。なかなか大変なんだから。拾ったボトルや空き缶は、ママのところへ運ぶんだけど、時々は投げられて遊ばなくなっちゃうんだよね。でも、これがまた楽しいんだ! ママのところへ持って行くと、何度もご褒美のオヤツがもらえるから、食



しん坊のあたしは大満足! あたしにとっては楽しいお遊びなだけで、「清掃ボランティア犬だ!」って、知らないおじさんやおばさんにも褒めてもらえるし、もう気分は最高です♪ 今度みんなも一緒にやってみませんか?